

コミュニティ末広の経緯

コミュニティ末広 代表 豊田茂男

■コミュニティ末広の発足

まちづくり協議会コミュニティ末広の発足は、1994年（平成6年3月）です。発足のきっかけは、まちづくり協議会を小学校校区毎に設立するという宝塚市の方針に従ったことです。

当初は、役員を中心にした本部が企画・実施しましたが、コミュニティ末広の活動を知っていただくため1998年度（平成10年度）には広報部を立ち上げました。さらに、これまで伊和志津神社で行われていた盆踊りを中心とする「夏まつり」を行うまつり部と、お年寄りを対象とした諸行事を末広小学校の児童等とともに行う福祉健康部を2000年度（平成12年度）に立ち上げ、活動が広がっていきました。

■宝塚市まちづくり基本条例の制定

宝塚市は、まちづくり協議会を市民と市が協働ですすめていく理念を示した「宝塚市まちづくり基本条例」を2001年（平成13年）12月25日に制定されました。

条例の中で制定の目的を次のように述べています。

私たちは、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指し、この美しい宝塚が「住み続けたい、訪れてみたいまち」となるようにしていかなければなりません。そのためには、地方自治の本旨にのっとり、地方分権の時代における新たな自治を確立するとともに、生活者である市民の立場からまちづくりを進めて行かなければなりません。

また、まちづくりは、市民と市の協働を基本とし、市民の持つ豊かな創造性、知識、社会経験等が十分に生かされることが必要です。

このような認識の下に、市民と市がまちづくりの基本理念を共有し、協働のまちづくりを進めるため、この条例を制定します。

まちづくりの基本理念の中に掲げられたこれから推進する「まちづくり」は、つぎの4つです。

- (1) すべての市民が健康で安心して暮らせ、災害に強く安全でいつまでも快適に住み続けることができる、安全で安心して暮らせるまちづくり
 - (2) 次世代を担う子ども達が夢と希望を抱き、健やかに成長し、そして、すべての市民の人権が尊重され、文化の薫り高い、心豊かなまちづくり
 - (3) 豊かな自然環境と歴史・文化に息づく都市の景観が美しく調和し、花や緑があふれ、環境にやさしい、個性と魅力のあるまちづくり
 - (4) 人と人、人と社会のつながりが強く、また、地域活動が活発な、にぎわいと活力に満ちたまちづくり
- なお、まちづくり基本条例の中で、総合計画の位置づけは、次のように規定されています。

（総合計画等）

第14条 市は、総合的かつ計画的な市政の運営を図るための基本構想及びこれを実現するための基本計画（以下「総合計画」という。）を、まちづくりの基本理念にのっとり策定するものとする。

■活動拠点 ドリーム末広の借用

一方、コミュニティ末広の活動拠点は、末広小学校内の1教室を教育委員会から借用して「ドリーム末広」として使用することができるようになりました。2002年（平成14年）11月のことです。

拠点の確保により、活動が活発に行えるようになりました。

■コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」の策定

コミュニティ末広では、宝塚市の指導の下に初めての末広小学校区「まちづくり計画」を関係構成団体（自治会、学校・幼稚園・保育所関係団体、老人クラブ、スポーツ21、PTA、行政関係者等）の協力を得て、約2年間の調査・検討・審議を経て、2005年（平成17年10月）に策定いたしました。

「コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01」では、わがまちの特徴をつぎの通りとらえて、計画目標を設定しました。

わたしたちのまち末広は、「コンパクトで便利・住みやすいまち」です。
 もう一つのまちの魅力が“みんなが仲良し”“このまちが好き”とすることです。
 このようなまちの特徴を踏まえて、コミュニティ末広のまちづくりスローガンは、
「出会い・ふれあい・みんなで楽しいまちづくり」としました。

末広のまちづくり計画は、つぎの大きなテーマにわけて、計画目標をかかげています。

<p>○安心・安全な道づくり 目標 歩行者にやさしいみちづくり お互いの気遣いで守る快適な歩行空間 小さな目配りをしあい隊づくり</p>	<p>○見守り・語らいのネットワークづくり 目標 日頃のつながりで、「いざ」に備える ひとりひとりに見守りで支える安全なまち</p>
<p>○賑わい・交流のまちづくり 目標 地域で遊ぼう 生き生きワクワク教育 地域でスクラム元気が出る賑わいづくり</p>	<p>○快適な環境づくり 目標 思いやりの心でつくる快適な公園 ～マナー向上宣言～ ごみのないまち・美しいまちづくり</p>

■コミュニティ末広 まちづくり計画 2005.10.01 の実施

計画はこのようにしてできたのですが「計画したこと」をどのように実施するかを宝塚市が主催した研修会等を受講して、みんなで話し合い「まちづくり計画実行委員会第一部会、同第二部会」の2つの部を2008年度（平成20年度）に立ちあげ、企画・実施することとしました。また、子育て支援部は2008年（平成20年）6月から子育てサロンとして開設しました。

○第一部会

第一部会は5つの自治会と民生児童委員が中心になり、「地域の安心、安全」を主題にしています。具体的には、地域の危険箇所の点検、横断歩道での識別旗の設置、学童の登下校の見守り、高齢者等の見守り・避難援助、住民の防火訓練の実施などを行っています。

○第二部会

第二部会は「地元産業の振興策（アピアへの集客策）、緑化の推進」を主題にしています。具体的には、アピアでのビヤガーデン・歌声喫茶の開催、寄せ植えの実施と講習会開催を行います。

○子育て支援部

子育て支援部は、末広小学校内のドリーム末広で月に3回程度、幼児の両親を対象として育成相談に応じています。沢山のおもちゃを用意していますので子どもさんのはのびのびと遊んでいます。

○総合防災対策事業委員会

「防災訓練」については、第一部会の所掌でしたが2014年度（平成26年度）からは、防災訓練等を主目的にした独立した総合防災対策事業委員会を立ちあげ、ここに移管しました。

2014年度（平成26年度）から2019年度（令和元年度）にかけて6回の訓練を末広小学校で実施しました。自治会単位で行っていた時は、防火訓練が中心でしたが末広小学校は指定避難所ですから、学校までの避難訓練や焚き出し訓練、避難所で必要とする段ボールベットの組立、防災に関する専門的知識を伝授する講演会の開催など広範な訓練ができるようになりました。ペットの同行避難訓練も行っています。

また、校区内の危険箇所を示し、避難路として望ましいルートを示した防災マップも作成し、全戸に配布しました。さらに4箇所のマンションと洪水時避難所提供の契約を結んで万一来に備えています。